



中部電力

原子力安全技術研究所の 取り組みについて

■当社は、福島第一原子力発電所の事故を契機として、さらなる原子力の安全性向上を目指し、原子力に係る研究の取り組みを一層強化するため、2012年7月、浜岡原子力発電所内に、「原子力安全技術研究所」を設置しました。

原子力安全技術研究所の特長

1. 現場密着型の研究 2. 公募研究の実施

■同研究所では、浜岡原子力発電所の現場を有効に活用した研究や、現場ニーズを的確に反映した研究に取り組むほか、公募研究などを通じて、大学・研究期間と連携して、将来にわたって原子力をエネルギー源として安全利用していくための研究にも取り組んでいます。

主要な研究テーマ

1 原子力発電所の安全性向上に 資する研究

機器・設備の故障の未然防止を図る研究や、地震・津波観測データなどを発電所運営管理に適用する研究に取り組めます。

2 1、2号機の運営（廃止措置）の改善に 資する研究

廃止措置の安全かつ円滑な実施を図る研究に取り組めます。

3 3、4、5号機の運営（保守・作業性）の 改善に資する研究

機器・設備の保守・作業性の向上を図る研究に取り組めます。

4 将来の技術に 資する研究

新型原子炉や次世代原子燃料サイクルに関する技術開発に資する研究を推進します。

研究発表会の実施

■公募研究を含め、原子力発電の安全性を高めるさまざまな研究の内容や成果を、広く地域の皆さまにお知らせするため、「サイエンス・フォーラム」を開催しています。このフォーラムでは、特別講演や研究担当者によるステージ発表のほか、ポスターや実機などの展示によるポスターセッションなどを実施しております。

■第3回目を、平成28年6月11日（土）に御前崎市民会館で開催し、約500の方にご来場いただきました。



研究発表会の様子